

教科	国語	科目(単位数)	言語文化(2)	学年	1	類型	普通科
学習目標	<p>言葉による見方や考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で適確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実生活や実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月 ～ 5月	①日本文学古文 古文入門 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 【領域：読むこと】	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりを理解している。 ・古文の特徴を理解し、歴史的仮名遣いについて理解している。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ・物語の内容や展開を的確に捉えている。	・古文の特徴を理解し、古文学習の意義を見いだして活動に取り組んでいる。 ・内容の理解を深めようと学習活動に参加している。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【1学期】 6月 ～ 7月	②漢文学 漢文入門 「漢文の学習」訓読に親しむ 【領域：読むこと】	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりを理解している。 ・漢文訓読の決まりについて理解し、訓読したり書き下し文にしたりすることができる。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・内容や構成を的確に捉えている。	・漢文の訓読の概略および返り点について自己の学習を振り返ることに主体的に取り組んでいる。 ・訓読の決まりを理解しようと粘り強く学習活動に取り組んでいる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
	③日本文学近現代 「とんかつ」(小説) 【領域：読むこと】	・我が国の言語文化特徴的な語彙の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・常用漢字を文や文章の中で活用するために、語句の量を増やし、語彙を豊かにすることを意識している。	・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。 ・小説の舞台や登場人物の状況や心理を理解している。	・積極的に物語の世界を味わい、今後の読書活動に生かそうとしている。 ・読書活動に主体的に取り組んでいる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 9月 ～ 10月	④日本文学古文 随筆を読む(一) 「うつくしきもの」(枕草子) 【領域：読むこと】	・古典の世界に親しむために作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・「枕草子」の類集的章段には複数の方があることを理解している。	・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。 ・当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解している。	・進んで随筆の特徴を理解し、学習の見通しを持って取り組んでいる。 ・作者の感じ方に共感できるか自分なりに考えようとしている。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 10月 ～ 11月	⑤漢文学 故事成語 「矛盾」(韓非子) 【領域：読むこと】	・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ・「矛盾」という言葉を理解し、故事成語が生まれた背景を理解している。	・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。 ・本文の内容や構成をとらえ、作者のもの見方、感じ方を理解している。	・進んで寓話の特徴を理解し、学習の見通しを持って言葉の調査に取り組んでいる。 ・自分で調べた故事成語を生活の中に生かそうとしている。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 11月 ～ 12月	③日本文学近現代 「羅生門」(小説) 【領域：読むこと】	・我が国の言語文化特徴的な語彙の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・「小説」の語りの特徴を、「評論」の語りなどと比較しておおむね理解している。	・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。 ・小説の舞台や登場人物の状況や心理を理解している。	・積極的に物語の世界を味わい、今後の読書活動に生かそうとしている。 ・読書活動に主体的に取り組んでいる。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【3学期】 1月 ～ 2月	⑦漢文学 中国の思想 「論語」 【領域：読むこと】	・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ・本文を正確に音読し、解釈上の重要な語句の意味を理解している。	・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。 ・孔子の考え方を歴史的背景と合わせて理解し、考察を深めることができる。	・孔子の考え方についての自己の学習を振り返ることに主体的に取り組んでいる。 ・学習の振り返りを自分なりにまとめようとしている。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【3学期】 2月 ～ 3月	⑧日本文学古文 「和歌と俳諧」 ⑨日本文学近現代 「短歌と俳句」 【領域：読むこと・書くこと】	・本歌取りや見立てなど我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・短歌や和歌、俳諧や俳句の表現技法とその効果について理解している。	・本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりすることができる。 ・折句を用いて感じたことを表現している。和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合っている。	・進んで表現の工夫に注意しながら韻文に読まれた情景や心情を理解したり、作品を想像したりしている。 ・自分なりに表現の工夫をして作品を表している。	知：行動観察 小テスト 思：行動観察 日々の課題 態：小テスト・課題 学びの軌跡シート		
使用教材 (教科書・副教材)	<p>「高等学校 標準 言語文化」(第一学習社) 「新訂版 最新国語便覧」(浜島書店) 「トリプルアプローチ 字義で覚える常用漢字」(浜島書店)</p>						
学習方法	<p>【日本文学古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文を音読し、古文や漢文のもつリズムに慣れる。</li> <li>・ 本文をノートに書き写し、意味のわからない語については辞書で調べる。</li> <li>・ 授業で学習した古語や文法事項をしっかりと覚える。</li> <li>・ 文脈上つながりの強い言葉を意識して、本文の内容を読み取る。</li> <li>・ 授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。</li> <li>・ 話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。</li> </ul> <p>【漢文学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢文の訓読に従い、書き下し文を完成させる。</li> <li>・ 語法や句法について「体系漢文」等で調べる。</li> <li>・ 授業で学習した語法や句法をしっかりと覚える。</li> <li>・ 丁寧に訓読しながら本文の内容を読み取る。</li> <li>・ 授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。</li> <li>・ 話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。</li> </ul>		<p>【日本文学近現代】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文を熟読し、わからない語句などは辞書を用いて意味調べをする。</li> <li>・ 小テストの漢字や、未習の漢字は確実に読み書きできるようにする。</li> <li>・ 漫然とノートを写すだけではなく、授業中は先生の話や他者の発言をしっかりと聞き、メモを取ったり自分の意見と比べたりする。</li> <li>・ 作品を読み終えた後は、感想や筆者の主張に対する意見をまとめる。</li> <li>・ 授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。</li> <li>・ 話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。</li> </ul>				
評価について	<p>各単元で設定された目標に対する観点別評価を行う。評価方法は、授業態度や授業内の協働学習での取り組み、小テスト、提出物、定期考査などである。各単元における評価方法は、上記【※評価方法】の通りである。各単元及び各学期における観点別の評価と、学年末における観点別の評価をもとに総合的な評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。</p>						